
J T 1 1 . 外為法 裏書情報照会

業務コード	業務名
J T U	外為法 裏書情報照会

1. 業務概要

輸出入申告に係る外為法関連電子ライセンスの裏書情報を照会する業務である。裏書情報照会情報画面から引き続き、電子ライセンスによって取引明細項番、原産地 国コードを変更して業務を実施できる。

2. 入力者

税関、通関業、輸出入者

3. 制限事項

紙発給済みの電子ライセンスの裏書情報は照会できない。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

(3) システム状態チェック

本業務を行う場合は、貿易管理サブシステムが手続き可能な状態であること。

(4) DB関連チェック

(A) 利用者

①利用者マスタDBに登録されている利用者であること。

②利用者が通関業者の場合、通関業者マスタDBに登録されている利用者（先頭5桁）であること。

③利用者が通関業者の場合、通関業者指定DBに登録されている利用者（先頭5桁）であること。

④利用者が通関業者の場合、申告を行った利用者（先頭5桁）と同じであること。

⑤利用者が税関、通関業者以外の場合、申請者個別情報DBに登録されている申請者で、当該電子ライセンスを所有する申請者であること。

(B) 申告番号

①申告事項DBに登録されていること。

②申告撤回または手作業移行等が行われていないこと。

(C) 電子ライセンス番号

許可承認証等DBに登録されている電子ライセンス番号であること。

(D) 取引明細項番

①入力された電子ライセンス番号が輸出許可証、輸入承認証に対応する番号である場合はライセンス輸出商品情報DBに登録されている商品番号であること。

②入力された電子ライセンス番号が事前確認書（ワシントン）、事前確認書（かに）、事前確認書（まぐろ）に対応する番号の場合はライセンス事前確認（ワシントン）情報DBに登録されている取引明細項番であること。

(E) 原産地 国コード

入力された電子ライセンス番号が事前確認書（水産物）に対応する番号の場合、ライセンス事前確認（魚介類）商品情報DBに登録されている原産地コードであること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 残数情報取得処理

入力された「電子ライセンス番号」に対応した裏書情報の残数、および数量を取得する。

(3) 出力情報出力処理

後述の出力情報の出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
外為法 裏書情報照会 情報 (輸出)	電子ライセンス番号が輸出許可証、輸出承認証に対応する番号である場合	入力者
外為法 裏書情報照会 情報 (輸入)	電子ライセンス番号が輸入承認証に対応する番号である場合	入力者
外為法 裏書情報照会 情報 (事前確認 (原産 地別裏書水産物(かに を除く)))	電子ライセンス番号が事前確認書 (水産物) に対応する番号である場合	入力者
外為法 裏書情報照会 情報 (事前確認 (取引 明細別裏書ワシントン 及びかに))	電子ライセンス番号が事前確認書 (ワシントン)、事前確認書 (かに)、事前確認書 (まぐろ) に対応する番号である場合	入力者